

こだち仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1 液水系アクリルシーラー (水で 50 ~ 100% 希釈して使用)	18kg/缶	約 135 ~ 240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1 液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75 ~ 100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1 液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80 ~ 106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約 7 m ²

セーフシーラー JS-800 は 2kg x 2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20 ~ 25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・金ゴテ
- ・専用竹ぼうき (JR-62)
- ・ヘッドカットローラー (平面用 ジョリパットローラー JR-26)
(隅用 ジョリパットローラー JR-27)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ (平滑) など

<こだち仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18%
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JP(W)-100 シーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100 シーズ</u>	20kg
塗 布 量	約2.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 平滑に材料を配り塗りしてください。	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

- ・配り塗りした主材が乾燥しないうちに、パターン付け専用竹ぼうき JR-62 で軽く押さえる様にし、上端から下へ引いてパターン付けを行ってください。下端部は前もって下から上にパターンを付けておくと仕上がりがキレイに納まります(図-1)。
- ・塗り継ぎの部分は、出来るだけ JR-62 の目を合わせ、1回ごとに高さを変え、ちどり状に塗り継ぎをし、一カ所に集中しないようにしてください(図-2)。
- ・JR-62 は水で常に濡らし、ホウキに付着したジョリパットはその都度(頻繁に)取り除くようにしてください。

追いかけて(5分以内)

5. ヘッドカット

- ・灯油に浸したカットローラー(JR-26,27)で軽く押さえるようにしてください。強く押さえるとパターンが潰れるため注意してください。

< 施工のポイント >

- ・竹ぼうきを壁面に対して斜めにあて、ジョリパットの表面を軽く削ってください。一つのパターンの長さは1m程度で、パターンをつなぐ時は、先に付けたパターンに30cm程度重なるようにしてください。(図-1、2)

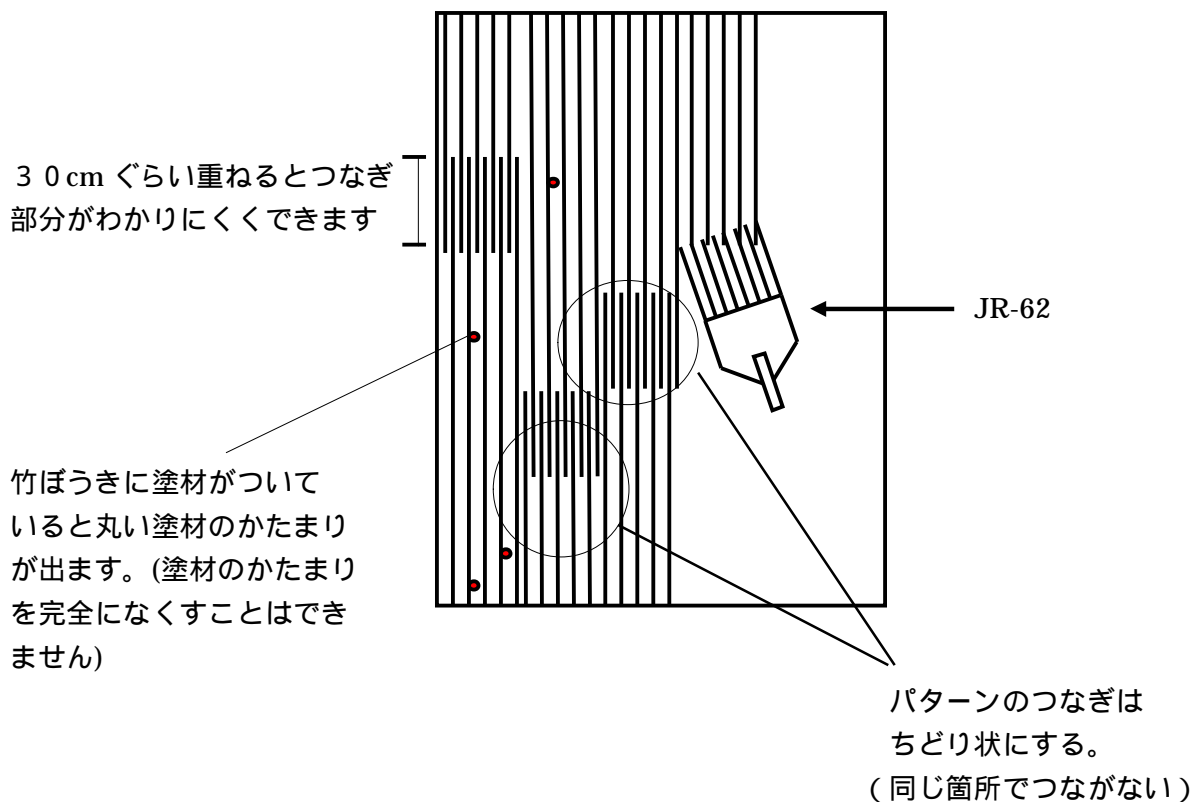


図 1

塗り継ぎ部

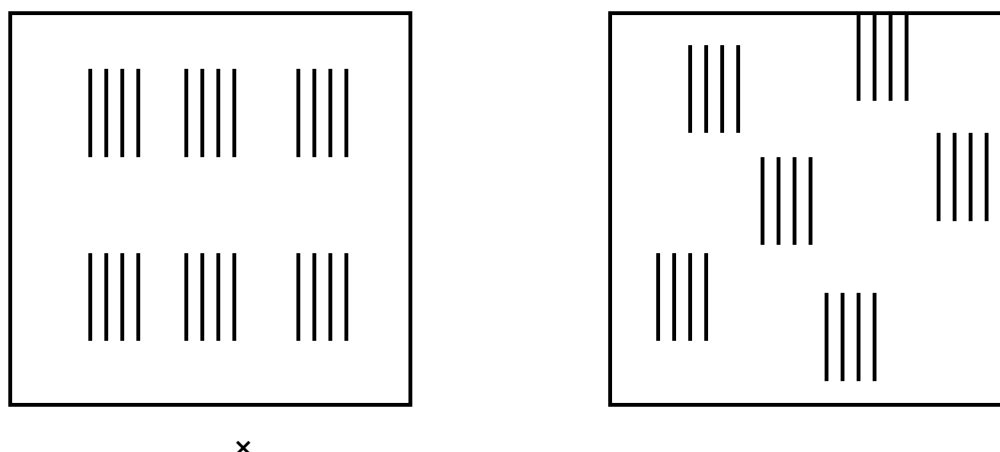


図 - 2

- ・竹ぼうきの先端に付着したJP(W)-100シリーズは、濡れウエスなどで取り除き、常にきれいに保ってください(ジョリパットの玉が壁面に残りにくくするため)。
- ・配り塗りはできるだけ均一に配って下さい。配り塗りが不均一の場合、パターンにムラが出る場合があります。
- ・竹ぼうきは必ずJR-62を使用して下さい。他の竹ぼうきではパターンが出ない場合があります。
- ・塗布量が少ない場合、溝が浅くなり、パターンがはっきりとでなくなります。

< 施工の注意事項 >

- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温5 以下、湿度80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のためJS-410をご使用下さい。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下ではJPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。

- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上